

## 「契約」について考える授業 ワークシート

わたしたちの「消費」活動は、「契約」と必ず関係しています。「契約」のルールは法律に定められています。わたしたちは毎日、それと意識しないで、法律に基づく行為を行っているのです。



家を借りるのも・契約



美容院でカットも・契約



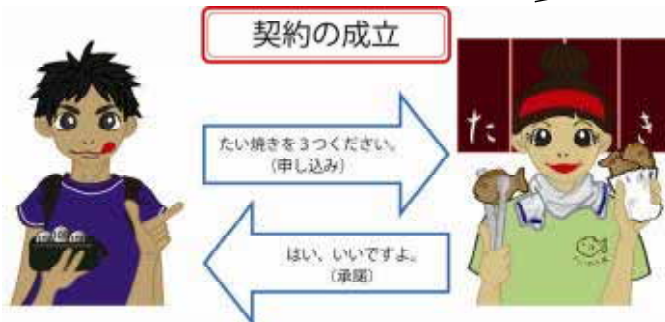
DVDのレンタルも・契約

「契約」って何だろう Ex. たい焼き屋のお店での 買い物の契約 を例に考えてみましょう。

「たい焼きを買う」 = ( **売 買** ) 契約

「たい焼き、3つください」・・・ ( **申し込み** ) } 合致

「はい、いいですよ」・・・ ( **承諾** ) } 契約成立!

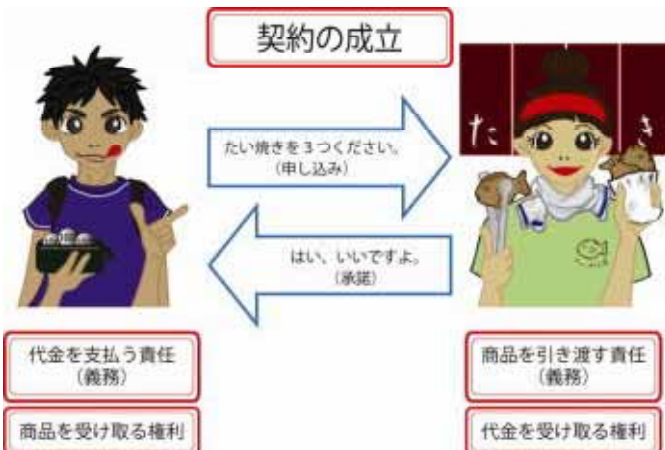


- ・お互いの ( **意 思** ) が一致することで、契約は成立する。
- ・書面 (契約書) を作ったり、印鑑を押したりという手続は必ずしも必要ではない。  
( **口 約 束** ) でも契約は成立する。

「契約」にともなう責任 (義務) Ex. 「たい焼きを買う」場合

契約が成立すると	[	お客さん	( <b>代金を支払う</b> ) 責任 (義務)	( <b>商品を受け取る</b> ) 権利
		お店の人	( <b>商品を引き渡す</b> ) 責任 (義務)	( <b>代金を受け取る</b> ) 権利

お互いがきちんと責任を果たす 満足 ☺ ( = 権利が実現される )



- ・「契約」によって、お互いに ( **責任 (義務)** ) が生じる。
- ・相手に責任を果たすことを求めることができる ( = 権 利 ) 。 ← 法律によって保護

## 「契約」を守らなければならないのはなぜ？

契約を結ぶことは個人の自由 = [ **契約自由** ] の原則



### 前提

お互いが ( **対等** ) な立場である。  
契約の ( **相手** ) や ( **内容** ) について、  
じっくり、しっかり考えて決めている。  
守れない約束をするはずがない！！



自分でよく考えたからなんだ！

### 【 原則から考えるキーポイント 】

自分で考えて、選んで、( **対等な立場** ) で決める。  
他人から 強制 されずに、ほんとうに ( **自由** ) に考え、選ぶ。



情報を集めて、  
自分で考えて・・・

こんな場合にも、「契約」は守らなければならないと言い切って大丈夫だろうか？

例1) 「事業者」と「消費者」とは、対等な立場で契約できるのだろうか？ 答え ( **×** )

・「事業者」と「消費者」には、情報量・交渉力・資金力などに ( **格差** ) がある。

Q: 「消費者」が「事業者」と公正な契約をするために、どんな対策が考えられるだろうか？

- 例 ・消費者が、商品やサービスの情報をしっかり集めることで、対等な立場に近づく努力をする。
- ・事業者が、消費者と対等な立場に近づけるように、商品やサービスの適切な情報を発信する。
- ・それでも格差はやっぱりあるから、消費者を守る法律や制度を作る。

例2) 「悪質商法」は、なぜ「悪質」なんだろうか？ 答え ( **契約をいろいろな形で強制されるから** )

・強制されたり、うその情報でだまされたり、急がせたりして、じっくり情報を集めて、比較して、よく検討しようとするのを ( **じゃましているから** ) 。

Q: 「悪質商法」の被害にあわないために、どんな対策が考えられるだろうか？

- 例 ・ゆっくり、自由に考えられない、他の人に相談できないと感じたら逃げる。
- ・被害にあいそうになった情報を集めて、他の人が被害にあわないようにする。
- ・それでも被害にあう人がいるから、消費者を守る法律や制度を作る。

「原則はどうだったかな？」と考えることは  
法的な疑問・被害を感じたときに  
調べてみたり、相談してみたり、  
法律を使って解決方法を考えたりするために役立ちます。

